

# こうじ まさかず 小路正和県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## 産業振興へ

# 工業団地整備に向け支援要請!

## 2月県議会一般質問に登壇

いすみ市選出の自民党、小路正和(こうじ・まさかず)県議は、2月定例県議会の本会議場での一般質問に登壇し、いすみ市が計画している同市内への工業団地整備について、県の積極的な支援を要請しました。小路県議は「地域には若者の働く場所が少なく、人口流出に歯止めがかからない。これが過疎化の大きな要因」と訴え、働く場の創出につながる工業団地整備への森田知事の前向きな対応を要望しました。漁業者の所得向上のための施策、沿岸部の津波対策、地域振興に欠かせない道路網整備など、市民生活の立場に立つ小路県議の質疑を特集しました。

**小路議員** 現在、いすみ市では、圏央道茂原長南インターチェンジから南総広域農道を経由して約20分の場所に位置する「須賀谷地先」

谷地先の未利用地を工業団地として整備するため、県は積極的に支援を行うべきと思うがどうか。

**商工労働部長** いすみ市において、工業団地整備の検討が進められている須賀谷地先の未利用地は、市が所有する約45ヘクタールの団の土地ですが、現況が山林であり、多額の造成コストが課題として考えられます。

産業用地の確保を検討するに当たっては、事業採算性の確認が大変重要と考えているところであり、県ではこれまでの工業団地を整備した知見やノウハウを活かして、現在、いすみ市に対して事業化の検討が必要となる資料提供を行うところです。

今後、こうした資料を基に、いすみ市が具体的な検討を行うことになりませんが、検討作業が円滑に進むよう、県としても積極的に支援していきたいと考えています。



自席から発言を求めて挙手する小路県議

# 須賀谷地先の市有地を検討

産業立地班を設置するなど、具体的に動き出しています。

先ほどの答弁によれば、まずは市が実施する基礎的な調査について、県が協力していくという趣旨だと思いますが、今後、工業団地整備の検討が、より具体化する際には、引き続き県の前向きな支援をお願いしたいと思えます。知事もぜひ過疎化対策として、特段の前のめりな応援をお願いしたいと思っています。

### 要望

いすみ市には、若者の働く場所が少なく、人口流出に歯止めがかからない、これが過疎化の大きな要因の一つと考えられます。働く場の創出につながる須賀谷の工業団地整備は、こうした過疎化対策として特段の支援が必要であり、県に大きな期待を寄せているところです。

## 夷隅地域の漁業振興

**小路議員** 夷隅地域の漁業を、将来に向けて次代を担う後継者が参入しなくなるような魅力ある産業にするためには、水産資源の維持増大や水揚げ物の付加価値向上などにより、漁業者の所得向上を図ることが重要だと考えます。漁業者の所得向上に向けて、漁業振興にどのように取り組んでいるのか。

**農林水産部長** 県では、漁業者や地元市町村とともに、漁獲量を増やすための

## 大原高校と地域連携

**小路議員** 大原高校が取り組んでいる、地域と連携を深める教育活動を踏まえながら、更なる発展に向けて

●いすみ市と県政に関するご意見をお寄せください

**小路正和** 県議事務所  
 〒298-0004 千葉県いすみ市大原8654  
 TEL・FAX 0470-62-5802

た学校づくりを進めるべきと思うがどうか。

**澤川教育長** 県立大原高校は、「地域とともに、地域の発展に貢献できる人材育成」を教育理念に掲げ、例えば、ヒラメの稚魚の放流を地元漁協や小学校と連携して行うなどの取り組みを進めており、地元関係者から地域と密着した学校として好意的な評価をいただいております。

来年度は、県内公立高校で初となる「地域学校協働本部」を設置することになっています。同校では本年度から普通科系の「一般教養」の科目で、地域で活躍する卒業生などを講師とした特別授業を年20回程実施していますが、同本部には新たな講師の発掘や講義のテーマ設定で協力いただく予定です。

# いすみ市域の津波対策

# 海岸づくり会議で検討に着手

## 地域の特性を踏まえ

**小路議員** 県はこれまで、九十九里沿岸の復興事業の後には、他の海岸の津波対策も順次進めていく方針を打ち出しており、いすみ市域に暮らす住民が安全に安心して暮らせる住環境にするためにも、早急な津波対策を行うべきだと考えます。そこで伺います。いすみ



2月県議会の壇上に立つ小路県議

地域の津波対策について、今後の取り組みはどうか。

**森田知事** 県の「千葉県沿岸海岸保全基本計画」では、数十年から百数十年の頻度で襲来が予想される津波を考慮して、海岸保全施設の高さの目安を設定しており、いすみ市域には津波対策が必要な箇所があります。津波対策の検討に当たっては、海岸ごとに地元市町村が主体で開催する「海岸づくり会議」を通じて、地域住民や関係団体の意見を聞いたうえで、ハードソフトによる手法を決定することとしており、順次検討に着手しています。県としては、津波対策の早期策定に向け、「海岸づくり会議」の開催を市に働きかけ、地域の意向や特性を踏まえて検討してまいります。

## 海岸道路と一体整備

**小路議員** 護岸の整備に際しては、サイクリング道路と一体的に整備すべきと思うがどうか。

**森田知事** 海岸整備に当たっては、防護の環境のほか、海岸利用との調和など地域の特性に応じた、きめこまやかな魅力ある海岸づくりを行うこととしています。いすみ市域の海岸線に隣接する国道九十九里・宮大原自転車道線は、かさ上げ等の改修予定もあることから、これも踏まえ、今後開催予定の「海岸づくり会議」を通じて検討してまいります。

け、地域の意向や特性を踏まえて検討してまいります。

**望** 海岸整備についてですが、早急に津波対策を進めていただきたいと思えます。津波対策の実施に当たっては、画的に進めるのではなく、サイクリングロードの整備、遊歩道の整備、排水、保安林を設けいすみ市には途中で頓挫している海岸道路もあります。

## 外房線の利便性向上

**小路県議** 外房線の利便性向上について伺います。県は来月16日に実施予定のJR外房線のダイヤ改正について、どのように評価しているのか。また、外房線のさらなる利便性向上について、今後どのように取り組んでいくのか。

**総合企画部長** 外房線は、沿線住民の通勤通学はもとより、房総方面への観光客の移動手段としての機能など、地域振興の観点からも重要な役割を担っていると考えています。この度のJRのダイヤ改正で、外房線では夜間の下り勝浦方面への乗り継ぎ時間が短縮されるなど、一部改善が図られたところですが、一方で、早朝に東京、千葉方面に向かう快速電車の待ち時間において、依然として改善すべき課題があると認識しています。

## 地域高規格道路で房州一周を！

### 長生グリーンライン

**小路議員** 次に道路問題について伺います。長生グリーンライン事業の中区間の進捗状況はどうか。

**県土整備部長** 長生グリーンラインは、圏央道の整備効果を外房地域に広く波及させるうえで、大変重要な道路であり、現在、茂原長南インターチェンジから広域農道までの6.5キロの整備を進めています。

このうち、茂原長南インターチェンジ（IC）から長南町道利根里線までの1.5キロの整備を進めています。

**望** 現在、開通目標が県道茂原大多喜線までであり、早期に広域農道までつなげていただくことが重要だと思えます。さらに先の二宮町、いすみ市までの区間が、茂原・宮大原道路であり、この先に鴨川・大原道路があり、その先に鴨川・館山道路があります。これを一周してつなげることが、外房・南房総の活性化につながり、知事がいつも言っている均衡ある発展につながると思いますが、広域農道まで少しでも早くお願いして、最終的には地域高規格道路の房州一周ということを実現化していただきたいと強く思っています。

## 鶴舞へのアクセス

**小路議員** 夷隅地域から圏央道へアクセスするルートは、国道465号や297号は、幅員が狭く屈曲した箇所も残っており、大型車の通行に支障となるなど、住

民の日常生活にも影響が及んでいます。いすみ市から圏央道市原鶴舞インターチェンジへのアクセス道路の取り組み状況はどうか。

**県土整備部長** 同アクセス道路は、国道465号から増田までの約6割の用地を取得し、起終点側の一部区間を要望します。

## 江場土交差差点改良

**小路議員** 国道128号いすみ市岬町江場土交差

点改良の進捗状況はどうか。

**望** 江場土交差点改良はぜひ進めていただきたい。128号ではそのほかにも、岬町の三門、和泉、しんぞん、まだまだ交差点改良が必要だと思えます。128号だけでなく、国道465号には山田という変則な交差点があり、土木事務所が改良を進めていますが、引き続き早期に着手、完成するよう要望します。

ス道路は、国道465号から国道297号を経由するルートが最短であり、利便性の向上を図るため、2つの区間でバイパス整備を進めています。

このうち、国道465号のいすみ市佐室から増田までの荻谷新田野バイパスについては、必要となる用地の一部を圃場整備に合わせて確保しています。

また、国道297号の大多喜町横山から市原市米原までの横山バイパスでは、これまで約6割の用地を取得し、起終点側の一部区間を要望します。

**望** 国道465号荻谷新田野バイパスは、長生グリーンライン、広域農道、新田野側がつながること、いすみ市の玄関口になるので、新田野側の整備を急いでいただきたい。

**望** 国道297号横山バイパスは、夷隅、勝浦、鴨川に至るまでに、大多喜の「七曲がり」が非常にネックになっているので、早期整備を要望します。

差点は、国道に県道と市道が食い違いで接続する交差点で、右折レーンがないことから渋滞が発生しています。県では平成28年度から交差点改良に着手しており、これまでに測量や設計などを行い、今年度は用地取得に向けた物件調査を実施しているところですが、